

## < 外国人と歩く長崎 実施例 >

実施学校：鹿児島市立〇〇中学校

参加人数：14名+引率1名（5名×3班）

外国人ゲスト：シラーニ（スリランカ女性）・

カレン（アメリカ男性）・ダニー（インドネシア女性）

<コース>

13:00 大浦天主堂前（顔合わせ）→

斜行エレベーター → グラバー園 → 大浦天主堂 →

孔子廟（外から）→ オランダ坂 → 中華街 → 出島

→ 電車（15:30）→ 原爆資料館（解散） 16:00



<外国人の方の感想>

私のグループは全員男の子でシャイであったが、一緒に歩いているうちに少しずつうち解けてきた。今まで中学生と話したことがなかったので、楽しかったし、鹿児島のことをいろいろ聞けてよかった。ただ英語を少し練習してきたようだったので、英語でも話したがあまりわかっていないようだったので、ほとんど日本語を使いました。



<生徒（上記例とは別の学校）の感想（岐阜県立〇〇中学校）>



僕はこの国際交流を通して、大切なことを学ぶことができましたと思います。

僕は、アミダさんと共に長崎を歩いたわけですが、班別研修では行くことのできなかつたところに行くことができました。もちろん相手は外国人の方なので最初は先生なしではコミュニケーションをとれませんでした。時間がたつにつれて自分たちも徐々に、言葉が通じなくても動作や表情などでコミュニケーションをとれるということがわかりました。そうして話を進めていくうち、アミダさんの故郷のお話を聞かせて頂きました。

アミダさんはナイジェリア出身でそこではあまり食べ物は食べられず衛生的な生活を送ってはいないようです。そんな中、アミダさんは日本にきて学んだことを故郷で生かそうと頑張っていました。この国際理解で、長崎のことだけではなく日本以外のことを知ることができました。僕がこれから生きていく上で、今回のことを忘れないようにして、他国の人とふれあうことがあったら、その人の話を聞いてニュースなどでは分からないことを知ることができたらいいと思いました。最初は、いいものとは思えなかったけど、今になったこの国際理解は大きなものだと思えました。